

地域	愛知県瀬戸市	認定日	平成19年6月12日	4 - 19 - 052
事業分類	製造(窯業・土石)	テーマ分類	日用品、環境	

**事業名: 陶器より軽量で丈夫な環境に優しく処分しやすいバイオマスを用いた骨壺等の製造販売事業**

**事業概要(新規性、市場性等)**

- ・生分解性樹脂を用いたバイオマス陶器(アイコン)を開発製造し販売を行う事業。具体的には、トウモロコシやでんぷん等の植物原料に、砕いた貝殻及び粘土を混ぜ合わせアイコンの原料を製造、その原料を使用した骨壺等の製造・販売を行う。
  - ・骨壺の取扱は宗派によって違いはあるが、骨壺から骨を取り出して納骨する地域においては、不用となる骨壺が寺社において産業廃棄物となり大きな問題となっている。
  - ・通常の陶器の場合、焼成温度は1,300度であるが、当該バイオマス陶器の焼成温度は170度という低温であるため、製造上の省エネルギー化が図られCO2削減に寄与するもの。
  - ・本製品は環境に配慮したものであり社会貢献度は極めて高く、今後様々な用途開発を行っていく。
- アイコン: コア企業が開発した生分解性樹脂を用いたバイオマス製品

**事業推進体制**

マーケティング支援

日本リガメント㈱

技術支援

愛知県産業技術研究所

**支援予定メニュー**

補助金

低利融資(中小公庫)

**連携体の構成**

製品開発、製造・販売

**コア企業: 瀬戸製土㈱**  
(愛知県瀬戸市)

- ・バイオマス製品の研究開発及び製造・販売
- ・量産化に向けた生産設備開発及び改良

葬祭事業者向け販路開拓

**トモエ陶業㈱**  
(愛知県瀬戸市)

- ・骨壺の販売
- ・骨壺開発のための情報収集

製品デザイン、絵付け

**漆工房石本玉水**  
(長野県塩尻市)

- ・骨壺の漆加工
- ・骨壺のデザイン企画・装飾

【参考資料】



燃烧後



アイコン製7寸骨壺  
1.15kg

575g(1/2の重量)

【アイコン素材の減量化実験】



【骨壺】



【ペット用骨壺】



【愛・地球博の会場内レストランで使用された食器】

## 連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業の瀬戸製土株式会社は、環境負荷を意識した取組みを従来から行っており、愛・地球博の会場内レストランに使用される食器開発を行い、その後も環境配慮型製品を一過性のものに終わらせない活動となる「環境配慮型製品実用化支援事業(エコプロダクツ)」へ参画するなど、本格的に事業化へ向けた取組みを行ってきた。
- ・コア企業がアイコン開発の展開構想の中、トモエ陶業株式会社より骨壺の産業廃棄物化が行政や寺において問題になっていることからバイオマス製品のニーズが大きいという情報を得た。また、製品の高付加価値化を鑑み、デザイン企画として石本玉水工房の培ったノウハウ等へ着目、連携体へ参画を得る事となった。
- ・アイコンは、軽量、高強度、素材のリサイクル・リユースというキーワードを持っており、この面から骨壺事業の延長として、航空食器、外食産業や病院の食器、チームマイナス6%〔2〕への参加企業の社員食堂の食器用途に展開することで、各事業者の炭酸ガス排出削減に寄与することが可能である。  
〔2 チームマイナス6%〕：平成17年2月16日に発効された京都議定書において、世界に約束した日本の目標(温室効果ガス排出量6%の削減)を実現するための国民的プロジェクトのこと。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	瀬戸製土株式会社 代表取締役会長 谷口 良治郎	
所在地	愛知県瀬戸市孫田町49番地	
創業	昭和26年6月	
資本金・従業員数	10,000千円	26人
業種	陶磁器用坯土製造業	
T E L	0561-82-3706	
F A X	0561-83-8825	
ホームページ	<a href="http://www.i3-cubu.jp">http://www.i3-cubu.jp</a>	
e-mail	seido@gctv.ne.jp	

## PR等その他の情報